

## 歳入見通し

# 庶民の負担ばかりが目立つ

質問する議員にとつて、傍聴者がいるかいないかでは気持ちの上でずいぶん違いがあり今回も赤旗読者の方に来ていただいて良い励みになります。議会質問はいつも上手くいくということではなく、今回はあまり良い出来ではなかったので、少し

申し訳なく  
思っていました。

法人税…  
ジェネリック…  
保健師…



6月14日市議会を傍聴しました。川村議員の質問は5点ありましたが、1. 今後の歳入構造の変化についてと、2. 全市民対象の健康づくり方策についての2つについての感想にとどめます。1は市政の基本部分の大切な質問でしたが、私の不勉強もあって十分理解できませんでした。その中で判ったことの1つは今後の増収策の1つとして(1)未利用地の処分(2)広報の広告収入(3)手数料の見直しという回答がありました。

(3)については「手数料の値上げなんてすんなり認めていいの?」と思いました。2では保健師の役割の大きいこと、その保健師さんを今より少しずつでも増やしてゆかかという質問でしたが市の答えは否定的のようでした。そういえば私も長男を妊娠した数十年前名古屋では保健師さんが自宅まで訪ねてきて指導してくださったことを思い出して、こういうことが今尾張旭市で行われているか知りた

割の大きいこと、その保健師さんを今より少しずつでも増やしてゆかかという質問でしたが市の答えは否定的のようでした。そういえば私も長男を妊娠した数十年前名古屋では保健師さんが自宅まで訪ねてきて指導してくださったことを思い出して、こういうことが今尾張旭市で行われているか知りた

質問も聴いてきましたが、やはり傍聴者がいれば緊張感があって市議会がほんとうに市民の代表の真剣な討論の場になるのではないかと思います。

(一市民)

### 市の歳入構造の変化について

- ① 定率減税の廃止による影響 1億6000万円
- ② 印場区画整理の仮換地課税 2億円
- ③ その他市税関係 5億1500万円
- ④ 未利用地の売却(4年間で) 4億円
- ⑤ 広告収入の確保(3年で) 900万円
- ⑥ 手数料の見直し(3年で) 2180万円
- ⑦ 法人市民税の不均一課税 8500万円

(今のところ実施の計画は無い)

- 市が増収策として挙げたのは①～⑥。
- このうち、①と③の増収分は、実際には国に吸い上げられるもので、差し引きゼロと見ておいたほうが良い。
  - ②は党議員団も数年前から予算要望で提起していたもの。
  - ④の土地売却は、継続的な増収策とはならない。
  - ⑥の手数料の見直しは、住民票の値上げなど。
  - ⑦は瀬戸市などでも行っているもので、担税力のある大きな企業には、もう少し負担をお願いするという議員団の提案。

傍聴された方の感想(左枠内)を踏まえて質問内容をまとめてみました。(川村)

**項目1 「今後の歳入構造の変化について」**  
お金の無いと言っている市が財源として何を示すか、答弁させておきたいとの考えから質問しました。答弁の内容は左下にまとめてあります。答弁の内容は左下にまとめてあります。答弁の内容は左下にまとめてあります。答弁の内容は左下にまとめてあります。

**項目2 「全市民対象の健康づくり方策について」**  
健康都市を目指す当市として、施策展開する上で保健師という専門職が重要な役割を担いうる(右下参照)ものとして、増員を図るべきではないかという問題提起と(裏面へ続く)

### 「地域における保健師活動指針」 (厚生労働省：2003年)

- ①地域全体の住民が対象で、その健康課題を意識し、予防的介入をし、早期発見・対応をする。
- ②予防的な観点で事業を確認し、相互の関連性を考え事業を拡充・充実する
- ③個別の事例から共通課題を発見し、必要なサービスを想像し、システム化・施策化・地域のネットワークを行う
- ④日常業務の中で地域の人々の状況をつかみ、ニーズの表出のない住民にも目を向け、依頼が無くとも訪問・対応できる強みを持つ。

(表面からの続き) 「自己責任」が強調されすぎていて現状に反論できればとの考えから質問したものです。

保健師の増員については「大幅な増員をしなくても対応できる」としながらも「事業の拡大と兼ね合わせながら計画的に進めてゆきたい」と答弁しており、増員について否定する答弁ではありませんが、定員適正化(定員削減)計画の影響もあり、職員の増員は簡単では無いと思えます。

定員適正化計画は国の主導で全国的に進められているのですが、自治体の仕事にはマンパワーによるものが必ずあり、そうした独自施策に力を入れようとした場合に矛盾が生じます。従って、現在の定員適正化計画は地方自治に反するものと言えます。(このことも質問内容からズレるため、質問では言わなかったことです。)

後者の「自己責任」については、健康づくりに取り組めない人はどうするのか、働く環境、社会的な環境の改善が必要との問いに対し、答弁した福祉部長も「福祉部長だけの立場では答えづらい内容」と言っているように、国の責任が問われる大きな問題だと考えられます。ただ、問題意識としては常に念頭に置いて欲しいことだと、議場で言うべきだったかと思えます。

感想の中で「知りたい」と書かれていた訪問指導については、健診の際に必要なを判断して訪問していること、要望があれば行っていることを質問後確認しました。

「多重債務者に対する相談業務の強化を求める」借金苦に陥った市民を助け、サラ金からお金を取り返すことで市税滞納の改善も図れるため、市にはもつと積極的な取組をして欲しいのですが、市の広報に載せることを明言した程度の答弁でした。9月か12月に、また質問したいと思えます。

### 項目3

#### 「多重債務者に対する相談業務の強化を求める」

借金苦に陥った市民を助け、サラ金からお金を取り返すことで市税滞納の改善も図れるため、市にはもつと積極的な取組をして欲しいのですが、市の広報に載せることを明言した程度の答弁でした。9月か12月に、また質問したいと思えます。

### 項目4

#### 「医療費抑制策について」

ジェネリック医薬品について再度質問しました。直接、患者さんの窓口負担が減ることですから、市にはもつと頑張ってくださいのですが、とりあえず、これをやってみて、少しずつ、様子を見て…という状態です。仮にジェネリック

ク医薬品の使用率が欧米並みの50%程度になれば、1兆円の違いになるとの試算もあり、単純に人口比で計算すると、尾張旭市では6億5000万円の違いが出ます。市はもつと積極的な姿勢を取るべきです。

保健指導についても聞きました。健康保険法などの一部改定により08年度から保健者(市としては国保部分だけ)の健診事業の取組強化が求められていて、それまでは、現状の対応をするという答弁でした。

法改定により全市民対象に行っている健診事業なども影響を受けると考えられ、党議員団も研究が必要な部分です。

### 項目5

#### 「フリーター・パート・失業者を対象とした労働法講座の必要性について」

既に行っているという答弁でした。開催の周知徹底を要望しました。中学生・高校生など将来の労働者への教育も効果的だと思います。

前号「旭民報433号で「民生部長」となっていたのは「福祉部長」の誤りです。訂正いたします。

## 6月議会

### 賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度

○：賛成 ×：反対

※議長は採決に加わりません。

| 議案などの名称  | 会派 | 日本共産党 |      | 市民クラブ |      |      |      |      |       | あさひ21 |      |      |      |      | 平成クラブ |     |     |     | 公明党  |       |       | 創新クラブ |      |        |      |
|--|----|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|-------|-----|-----|-----|------|-------|-------|-------|------|--------|------|
|  |    | 川村剛   | 塚本美幸 | 大島もえ  | 佐藤信幸 | 早川八郎 | 水野利彦 | 水野義則 | ※渡辺欣聖 | 相羽晴光  | 伊藤憲男 | 岩橋盛文 | 斉場洋治 | 坂江章演 | 森下政己  | 服部勝 | 原淳磨 | 森和実 | 行本聖一 | 若杉たかし | 伊藤恵理子 | 丹羽栄子  | 良知静夫 | 谷口マシラオ | 山下幹雄 |
| 請願 第1号 小泉首相に靖国参拝の中止を求める意見書提出についての請願書             |    | ○     | ○    | ○     | —    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×   | ×   | ×   | ×    | ×     | ×     | ×     | ×    | ×      | ×    |
| 陳情 第8号 最低賃金の引き上げ、公契約における賃金・労働条件の改善及び均等待遇実現に関する陳情 |    | ○     | ○    | ×     | —    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×   | ×   | ×   | ×    | ×     | ×     | ×     | ×    | ×      | ×    |
| 陳情 第9号 憲法を生かし、住民の暮らしを守る行政推進を求める陳情                |    | ○     | ○    | ○     | —    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×   | ×   | ×   | ×    | ×     | ×     | ×     | ×    | ×      | ×    |
| 陳情 第10号 住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求める陳情           |    | ○     | ○    | ×     | —    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×   | ×   | ×   | ×    | ×     | ×     | ×     | ×    | ×      | ×    |
| 陳情 第11号 少人数学級の早期実現を求める陳情書                        |    | ○     | ○    | ○     | —    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×   | ×   | ×   | ×    | ×     | ×     | ×     | ×    | ×      | ×    |

6月議会では、議案12件、諮問1件、請願1件、陳情4件が議論され、党議員団は全て賛成しました。

請願・陳情のうち、陳情第8号について川村議員が、陳情11号について塚本議員が、それぞれ賛成討論を行いました。